

第1回 沖縄交通リ・デザイン検討会 議事要旨

日時：2023年11月2日（木）13:30～15:30

場所：那覇第2地方合同庁舎1号館2階大会議室＋Teams

出席者（順不同）：

- ・ 琉球大学 神谷氏
- ・ 株式会社琉球銀行 具志氏（代理出席）
- ・ 株式会社りゅうざん総合研究所 志良堂氏
- ・ 株式会社沖縄銀行 西村氏
- ・ 株式会社沖縄海邦銀行 高江洲氏（代理出席）
- ・ 株式会社沖縄海邦銀行 天久氏
- ・ 沖縄振興開発金融公庫 大西氏
- ・ 沖縄振興開発金融公庫 高良氏（代理出席）
- ・ 沖縄経済同友会 新垣氏（代理出席）
- ・ 一般社団法人沖縄県経営者協会 田端氏
- ・ 沖縄電力株式会社 川満氏（途中退席） 呉屋氏（代理出席）
- ・ 株式会社りゅうせき 玉城氏
- ・ 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 金城氏
- ・ 一般社団法人沖縄県バス協会 高江洲氏（代理出席）
- ・ 一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会 大城氏
- ・ 沖縄都市モノレール株式会社 喜納氏（代理出席）
- ・ 沖縄県企画部 谷合氏
- ・ 沖縄県土木建築部 金城氏
- ・ 沖縄県文化観光スポーツ部 大城氏（代理出席）
- ・ 沖縄県教育庁 高良氏（代理出席）
- ・ 内閣府沖縄振興局 野本参事官
- ・ 内閣府沖縄総合局運輸部 星部長
- ・ 内閣府沖縄総合事務局開発建設部 建設産業・地方整備課 久場課長
- ・ 内閣府沖縄総合事務局開発建設部 道路建設課 森山課長補佐（代理出席）
- ・ 内閣府沖縄総合事務局経済産業部 エネルギー・燃料課 長嶺課長補佐（代理出席）
- ・ 厚生労働省沖縄労働局 西川局長
- ・ 株式会社三菱総合研究所 矢嶋氏

- 内閣府沖縄総合事務局星運輸部長より本事業の狙いについて説明。（資料 1）
- 厚生労働省沖縄労働局西川局長、株式会社三菱総合研究所矢嶋氏より関連する内容について基調講演。（資料 2、3）
- 事務局より今後の進め方について説明。（資料 4）
- 意見交換 各委員の主なご意見は以下のとおり。

- ・ 交通政策は課題解決を現状から考えると身動きが取れなくなってしまう。バックキャスティングによる検討には非常に期待している。
- ・ 県でもパーソントリップ調査を実施しており、今後も情報共有しつつ、win-win で都市計画マスター プランを作りたい。
- ・ インタビューで潜在的な意識を引き出し、沖縄としてできることと観光客が求めることの調和を探りながら、次の観光やまちづくりにもつなげていけたらと考えている。
- ・ レンタカーによらない移動手段や交通手段の多様化が今後の沖縄観光にとって重要であり、沖縄経済にも良い影響を及ぼすものと考える。
- ・ 琉球大学では 6 割程度の学生が車で通学しているとのことだが、車を使わなければいけないことが学生にとって進学のネックになっている可能性もあるのではないか。
- ・ 一般の方には、ホームページ・SNS 等を活用した方がより多くの人にこのリ・デザイン事業の考えが届くのではないかと考えている。
- ・ 潜在的な沖縄の交通に関する声を拾って、事業に活用できればと考えている。問題があるところにニーズがあると考えており、今後一緒に取り組ませていただきたい。
- ・ バスの路線の実証実験では時間が短く定着する前に終わってしまうことが多いので、今回の事業をネットワークの議論に繋げていければと思う。
- ・ この事業であるべき姿が描かれることで交通事業者がそれを目指して取り組むことができると思うので、大変期待している。
- ・ PI で様々な声を取ること、そのまとめ方等がポイントと考えており、ステークホルダーに期待されるアクションや企業に求める事につながると思うことから、引き続き関心を持って参加したい。
- ・ カーボンニュートラルに向けて未来型のエネルギー供給も検討しており、交通の変化は多分に影響する。この検討会で勉強させていただければと思う。
- ・ 障碍者関係、シングルマザー（支援している団体）は声を聞いておく必要がある。
- ・ 親による学生の送迎に関しては、学校から遠いほどバスで通い、逆に近い方が車使っている状況であり、利便性と違う部分に理由があると考えている。
- ・ 観光は様々なところを巡るだけでなく、一か所で体験を楽しむように変えていかないといけない。また駐車場は一番非効率な土地利用だと思う。
- ・ みんなが一緒に代わっていかないといけない問題である。意義、役割を認識し、機運を醸成する必要がある。交通や企業や働き方をデザインしてアクションにしていただきたい。

以上